

原点を  $O$  とする  $xy$  平面において、曲線  $C : y = x^2 - x + 2$  と直線  $L : y = 2x$  で囲まれた図形を  $S$  とする。図形  $S$  の境界に含まれる  $C$  上の各点を  $P$  として、各点  $P$  から  $L$  に垂線をおろし、垂線と  $L$  の交点を  $H$  とする。線分  $PH$ 、線分  $OH$  の長さをそれぞれ  $r, h$  とする。次の問い合わせに答えよ。

(1) 点  $P$  の  $x$  座標を  $t$  とするとき、 $r$  および  $h$  をそれぞれ  $t$  を用いて表せ。

(2) 図形  $S$  を直線  $L$  の周りに 1 回転させてできる立体の体積  $V$  を求めよ。

(25 大阪医薬大 医 3)

【答】

$$(1) r = \frac{-t^2 + 3t - 2}{\sqrt{5}}, \quad h = \frac{2t^2 - t + 4}{\sqrt{5}}$$

$$(2) V = \frac{\pi}{30\sqrt{5}}$$

【解答】

$$C : y = x^2 - x + 2$$

$$L : y = 2x$$

(1)  $r$  は  $P(t, t^2 - t + 2)$  から直線  $L : 2x - y = 0$  に下した垂線の長さであるから

$$\begin{aligned} r &= \frac{|2t - (t^2 - t + 2)|}{\sqrt{2^2 + (-1)^2}} \\ &= \frac{|-t^2 + 3t - 2|}{\sqrt{5}} \end{aligned}$$

$P(t, t^2 - t + 2)$  は  $L$  上または下側の点であるから

$$t^2 - t + 2 \leq 2t$$

$$\therefore -t^2 + 3t - 2 \geq 0$$

であり

$$r = \frac{-t^2 + 3t - 2}{\sqrt{5}} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

また、 $h$  は  $O(0, 0)$  から直線  $PH$  に下した垂線の長さである。直線  $PH$  の方程式は

$$y = -\frac{1}{2}(x - t) + t^2 - t + 2$$

$$\therefore PH : x + 2y - 2t^2 + t - 4 = 0$$

であるから

$$h = \frac{|-2t^2 + t - 4|}{\sqrt{1 + 2^2}}$$

$O$  は直線  $PH$  の下側の点であるから

$$0 < -\frac{1}{2}(0 - t) + t^2 - t + 2$$

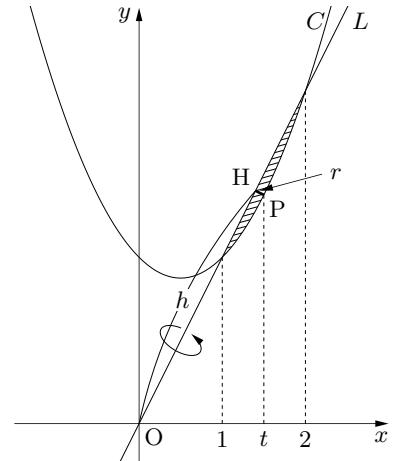
$$\therefore t^2 - \frac{1}{2}t + 2 > 0$$

$$\therefore 2t^2 - t + 4 > 0$$

であるから

$$h = \frac{2t^2 - t + 4}{\sqrt{5}} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。



(2)  $C$  と  $L$  との交点の  $x$  座標は

$$\begin{aligned}x^2 - x + 2 &= 2x \\x^2 - 3x + 2 &= 0 \\(x-1)(x-2) &= 0 \\\therefore x &= 1, 2\end{aligned}$$

である.  $t = 1$  のとき  $h = \sqrt{5}$ ,  $t = 2$  のとき  $h = 2\sqrt{5}$  であり, 図形  $S$  を直線  $L$  の周りに 1 回転させてできる立体の体積  $V$  は

$$\begin{aligned}V &= \int_{\sqrt{5}}^{2\sqrt{5}} \pi r^2 dh \\&= \pi \int_1^2 \frac{(-t^2 + 3t - 2)^2}{5} \cdot \frac{4t-1}{\sqrt{5}} dt \quad \left( \because h = \frac{2t^2 - t + 4}{\sqrt{5}} \text{ と置換} \right) \\&= \frac{\pi}{5\sqrt{5}} \int_1^2 (t-1)^2(t-2)^2(4t-1) dt \quad \cdots \cdots \textcircled{1} \\&= \frac{\pi}{5\sqrt{5}} \int_0^1 u^2(u-1)^2(4u+3) du \quad (\because u = t-1 \text{ と置換}) \\&= \frac{\pi}{5\sqrt{5}} \int_0^1 (4u^5 - 5u^4 - 2u^3 + 3u^2) du \\&= \frac{\pi}{5\sqrt{5}} \left[ \frac{2}{3}u^6 - u^5 - \frac{1}{2}u^4 + u^3 \right]_0^1 \\&= \frac{\pi}{30\sqrt{5}} \quad \cdots \cdots \text{(答)}\end{aligned}$$

である.

- 部分積分法を用いると次の等式が得られる.

$$\int_{\alpha}^{\beta} (x-\alpha)^m (\beta-x)^n dx = \frac{m!n!}{(m+n+1)!} (\beta-\alpha)^{m+n+1} \quad (m, n \text{ は } 0 \text{ 以上の整数})$$

これを用いると  $\textcircled{1}$  は

$$\begin{aligned}V &= \frac{\pi}{5\sqrt{5}} \int_1^2 (t-1)^2(t-2)^2 \{4(t-1)+3\} dt \\&= \frac{\pi}{5\sqrt{5}} \int_1^2 \{4(t-1)^3(2-t)^2 + 3(t-1)^2(2-t)^2\} dt \\&= \frac{\pi}{5\sqrt{5}} \left\{ 4 \cdot \frac{3!2!}{6!} (2-1)^6 + 3 \cdot \frac{2!2!}{5!} (2-1)^5 \right\} \\&= \frac{\pi}{5\sqrt{5}} \left( \frac{1}{15} + \frac{1}{10} \right) \\&= \frac{\pi}{30\sqrt{5}}\end{aligned}$$

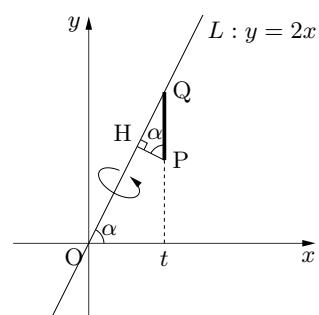
となる.

- $C$  上の点  $P(t, t^2 - t + 2)$  を通り  $y$  軸と平行な直線と  $L$  上との交点  $(t, 2t)$  を  $Q$  とおく. 線分  $PQ$  が  $L$  を軸として回転してできる円錐を切り開くと, 次頁の図のような扇形が得られる. この扇形の弧の長さは円錐の底円の周の長さと一致するから

$$2\pi PH = 2\pi r$$

である.  $L$  と  $x$  軸正方向とのなす角を  $\alpha$  とおくと

$$\tan \alpha = 2 \quad \therefore \cos \alpha = \frac{1}{\sqrt{5}}$$



であり

$$PH = PQ \cos \alpha = \frac{PQ}{\sqrt{5}}$$

$$\therefore PQ = \sqrt{5}PH = \sqrt{5}r$$

である. 微小体積  $\Delta V$  は

$$\begin{aligned}\Delta V &= (\text{扇形の面積})\Delta t \\ &= \frac{1}{2}(\text{扇形の弧の長さ})PQ \Delta t \\ &= \frac{1}{2} \cdot 2\pi r \cdot \sqrt{5}r \Delta t \\ &= \sqrt{5}\pi r^2 \Delta t\end{aligned}$$

であるから, 求める体積  $V$  は

$$\begin{aligned}V &= \int_1^2 \sqrt{5}\pi r^2 dt \\ &= \frac{\pi}{\sqrt{5}} \int_1^2 (-t^2 + 3t - 2)^2 dt \\ &= \frac{\pi}{\sqrt{5}} \int_1^2 (t-1)^2(2-t)^2 dt \\ &= \frac{\pi}{\sqrt{5}} \cdot \frac{2!2!}{5!} (2-1)^5 \\ &= \frac{\pi}{30\sqrt{5}}\end{aligned}$$

である.

